

番号	問題と解説
1	金融商品としてのオプションの基本的な内容を示すものとして、正しければ○、誤っていれば×を選択。 一般的なオプション取引では、オプションとは一定の期間内に、あらかじめ定めた価格によって原資産を買い取る（又は売り渡す）ことができる権利をいい、オプション所有者は、一定の期間内に、あらかじめ定めた価格によって原資産を必ず買い取らなければ（又は売り渡さなければ）ならない。
1-A	× オプション取引は、買う権利（コール）と売る権利（プット）の売買です。オプションの所有者が一定の期間内（又は特定の期日）に原資産を買い取る（又は売り渡す）ものや、原資産価格とオプション価格の差額を授受するものがあります。
2	バイナリーオプションの説明として、正しければ○、誤っていれば×を選択。 バイナリーオプションには、オプションの満期を権利行使時刻として定め、権利行使時刻に自動的に権利行使が行われ、オプションの買い手にペイアウトが支払われる（当社においては100ポイントで清算される）一般的なバイナリーオプションのほか、レンジバイナリーオプション、ワンタッチバイナリーオプション、ノータッチバイナリーオプションなどの複数の種類がある。
2-A	○ バイナリーオプションの種類は、オプションの満期時に権利行使されるものや取引期間中に権利行使価格に達した場合に権利行使されるもの、取引期間中に設定された価格帯の範囲内に収まっていた場合権利行使されるものなど複数の種類があります。
3	権利行使価格 1 ドル100円、ペイアウト1,000円のドル円のコールバイナリーオプションを300円で売付けし、判定価格が1 ドル98円となったケースについて、正しいものを選択。 ①権利行使が行われ、オプションの買い手に1,000円のペイアウトを支払う。 ②権利行使は行われず、ペイアウトを支払わない。
3-A	② 判定価格が1 ドル98円となった場合、権利行使価格1 ドル100円に達していないため、コールバイナリーオプションの売り手は、買い手にペイアウトは支払われません。
4	次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を選択。 ペイアウト1,000円のバイナリーコールオプションを300円で買付し、判定の結果、権利行使条件が満たされた場合には、買い手は売り手からペイアウトとして1,000円を受け取る。したがって買い手の損益は、売り手に支払った300円のオプション料を差し引き700円の利益となる。
4-A	○ 700円（買い手の利益） = -300円（買い手から売り手に払うオプション料） + 1,000円（買い手が売り手より受け取るペイアウト）
5	オプションの取手法として、正しければ○、誤っていれば×を選択。 保有する原資産の今後の価格下落を回避（ヘッジ）するため、原資産のコールオプションを買い付けた。
5-A	× 原資産価格が今後価格下落すると予測した場合、プットオプションの買いが保有する原資産のヘッジとして有効です。

番号	問題と解説
6	次の文章のうち、バイナリーオプション投資について、正しければ○、誤っていれば×を選択。 判定時刻に、原資産価格が権利行使価格よりも上昇していると予測し、バイナリーコールオプションを買い付けた。
6-A	○ 判定時刻に原資産価格が権利行使価格よりも上昇していると予測した場合の投資手法は、バイナリーコールの買い付け又はバイナリープットの売り付けをします。
7	ブレーンオプション投資について、正しければ○、誤っていれば×を選択。 プットオプションの買いでは、権利行使価格に原資産1単位当たりのオプション料を減算した価格が損益分岐点である。
7-A	○ プットオプション買いの損益分岐点は、（権利行使価格-オプション料）で算出されます。
8	一般社団法人金融先物取引業協会に所属する金融商品取引業者及び登録金融機関が取り扱う、個人向け店頭通貨バイナリーオプション取引の説明として、正しければ○、誤っていれば×を選択。 バイナリーオプションの取引期間（満期）は2時間以上であり、原則として取引期間中は自由に取引することができる。
8-A	○ 一般社団法人金融先物取引業協会「個人向け店頭バイナリーオプション取引業務取扱規則」において、取引期間（満期）は2時間以上、原則として取引期間中は売値・買値が提示され、顧客は買付及び売付ができますとされています。
9	次の文章のうち、正しければ○、誤っていれば×を選択。 オプション取引にはヨーロピアンタイプとアメリカンタイプがあり、権利行使期間の満期時だけに権利行使できるものをヨーロピアンタイプという。
9-A	○ オプション取引には、権利行使期間の満期時だけに権利行使できるヨーロピアンタイプ、権利行使期間を通じていつでも権利行使できるアメリカンタイプがあります。
10	次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を選択。 プットオプションにおいて、原資産の価格が権利行使価格を下回っている状態をインザマネーという
10-A	②○ プットオプションにおいては、原資産の価格が権利行使価格を上回っている状態をアウトオブザマネー、下回っている状態をインザマネーといいます。

番号	問題と解説
11	一般社団法人金融先物取引業協会に所属する金融商品取引業者及び登録金融機関の取り扱う、個人向け店頭通貨バイナリーオプション取引に関し、正しければ○、誤っていれば×を選択。  個人向け店頭通貨関連バイナリーオプション取引を取り扱う場合には、自社が決定する判定価格について、ミスや作戦的な操作が行われていないか自ら点検するほか、第三者の提供するレートデータを用いる場合でも、データに誤りがないか点検している。
11-A	○ 一般社団法人金融先物取引業協会「個人向け店頭バイナリーオプション取引業務取扱規則」において、判定価格等について点検することとしています。
12	オプションの買い手の権利・義務について、正しければ○、誤っていれば×を選択。  オプションの買い手は、権利行使をしなかった場合には、オプションの売り手にオプション料を支払わない。
12-A	× オプションの買い手は、権利行使の有無にかかわらず、オプションの売り手にオプション料を支払わなければなりません。
13	プレーンオプションの買い手の損益について、正しければ○、誤っていれば×を選択。  プレーンオプションの買い手は、必ず権利行使するので、原資産価格が無限大とすれば、損失額も利益額も無限大となる。
13-A	× プレーンオプションの買い手の最大損失額は買付時のオプション料で、利益額は原資産価格と権利行使価格の差からオプション料を引いた額となり、原資産価格が無限大ならば、利益も無限大になります。
14	一般的なオプション投資の考え方として、正しければ○、誤っていれば×を選択。  権利行使により利益が得られる確率を踏まえれば、一概にオプション価格が安いものが有利とはいえない。
14-A	○ オプション価格が安いものは、権利行使された場合利益は大きくなりますが、一方で権利行使される確率は低いため、一概に有利とはいません。
15	日本国内で取引される店頭バイナリーオプション取引の説明として、正しければ○、誤っていれば×を選択。  店頭バイナリーオプションの金融商品としての内容は、取扱金融商品取引業者によって異なる。
15-A	○ 店頭バイナリーオプションは、取扱金融商品取引業者によって商品性や取引ルールが一律ではありません。

番号	問題と解説
16	オプションの一般的な特徴として、正しければ○、誤っていれば×を選択。 権利行使価格、権利行使期間が同一のヨーロピアンタイプとアメリカンタイプのオプションでは、アメリカンタイプの方がオプション価格は高い。
16-A	○ アメリカンタイプのオプション価格は、取引期間中権利行使価格に達すればその時点で権利行使される特徴があるため、取引期間満期時にのみ権利行使されるヨーロピアンタイプのオプション価格と比べてオプション価格が高い傾向があります。
17	オプション価格を構成する本源的価値と時間的価値について、正しければ○、誤っていれば×を選択。 オプション価格は本源的価値に時間的価値を加えた値である。
17-A	○ オプション価格は本源的価値と時間的価値との和から構成されます。
18	バイナリーオプション価格について、正しければ○、誤っていれば×を選択。 一般的には、インザマナーのバイナリーオプションの価格は、ペイアウト価格（当社においては100ポイント）を上回ることはない。
18-A	○ バイナリーオプションにおいては、ペイアウト価格の上限が設定されているため、インザマナーのバイナリーオプションの価格においても、ペイアウト価格を上回ることはできません。
19	バイナリーオプションの一般的な価格変化について、正しければ○、誤っていれば×を選択。 バイナリーオプションの場合、プレーンオプションとは異なり、インザマナーのときには、残存期間が長くなるほど、オプション価格は低くなる。
19-A	○ バイナリーオプションはインザマナーの場合であっても、残存期間が短いより長い方が権利行使される確率が低くなるため、オプション価格は低くなる傾向があります。
20	ヒストリカルボラティリティについて、正しければ○、誤っていれば×を選択。 オプションを含め、デリバティブ取引における理論価格の計算に用いられるボラティリティには、ヒストリカルボラティリティとインプライドボラティリティの2種類のボラティリティがあります。このうちヒストリカルボラティリティとは、原資産に対する過去の変動率の実測値に基づくボラティリティのことである。
20-A	○ 原資産に対する過去の変動率の実測値に基づくボラティリティをヒストリカルボラティリティ、原資産に対する将来の変動率を予測したボラティリティをインプライドボラティリティといいます。